

広島県中小企業団体中央会 2014年9月分情報連絡一覧表

(食料品)

●食料品

中国醤油醸造協同組合

9月の出荷量は前月比7.7%減少、前年同月比5.1%減少、売上高は前月比3.3%減少、前年同月比3.5%減少となった。

(繊維・同製品)

●繊維工業

広島県輸出縫製品工業協同組合

海外へ仕事シフトし、国内企業が廃業等により減少している中、国内の仕事が今後若干増える事が予想され、国内企業の仕事量が増えることが予想されている。

(木材・木製品)

●木材・木製品

福山木材協同組合

消費税増税後悪化が続き、9月が底のような感じであった。秋になって景況感は少し上向いてきている。

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

平成26年8月の全国新設住宅着工数は、73,771戸（前年同月比12.5%減少）、季節調整済年率換算値では84.5万戸（前月比0.7%増加）である。利用関係別にみると、持家は24,250戸で前年同月22.7%減少、分譲住宅は20,669戸で前年同月10.3%減少、貸家は28,435戸で前年同月3.8%減少となった。木造住宅着工数は、40,667戸で前年同月15.1%減少となった。

住宅着工の動向については、消費マインドの改善等もあり堅調に推移してきたが、消費税率の引上げに伴う駆け込み需要の反動もあり、実数では前年同月より減少している。季節調整値では、前月より若干増加となった。

今後の先行きは、雇用・所得環境の推移、東日本大震災からの復興状況、建設労働者の需給状況、住宅ローン金利の動向等から引き続き慎重に見極める必要がある。

広島県内の着工数は1,507戸で前年同月20.7%の減少となった。その内訳としては、持家が432戸で前年同月28.8%の減少で、貸家が380戸で前年同月33.5%の減少、また分譲が694戸で前年同月3.6%の減少となった。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

消費税増税の影響で車の国内販売は減少しているが、輸出が好調で、国内生産台数は減少していないようである。ただ、住宅マーケットは昨年来からの消費税増税前の駆け込み需要の反動で減少している。また、公共投資による工事も人手不足により増加していない。

業績については、昨年とあまり変化はないように思えるが、原材料高や人手不足、電力不足等先行きに対する不安材料は多々ある。よって設備投資、正社員採用には慎重にならざるを得ない。

プラスチック製品製造業

●広島県プラスチック工業会

9月の自動車関連売上は、新車立ち上がり等に伴い売上は微増した。他は横ばい傾向にある。

急激な再円安の傾向にあり、原材料等の値上げが懸念される。消費財市場の需要は依然として低迷感に覆われている。経営環境は厳しい状態にあり、更なるコスト改善への取組みが各社求められる。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

26年9月 3,234 m³ (対前年比 10.1%減少)

26年8月 2,669 m³

25年9月 3,597 m³

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

9月は前月比 10%増加、前年同月比 10%減少となった。前月比増加の要因は、8月受注分の納期のずれ込みがあったためである。

●一般機械器具

協同組合三菱広島協力会

広島県西部地区において、コンプレッサー関連及び航空機関係が高操業で、その他の製鉄機械、ゴムタイヤ機械、搬送機器等の機種については、低操業の状況が続いている。それに伴い、協力会社各社は高操業な部門の仕事量の確保に努力している。

(電気機器)

●電気機械器具

(電気) 広島県東部機械金属工業協同組合

輸出関係が伸びており、消費税の影響は今のところ見受けられない。前月比 10%増加、前年同月比は変化なしとなった。

人の集まりがよくない。特にパートタイマーの集まりが悪い。最低賃金が高すぎてコスト面で非常に圧迫感がある。コストダウン要求が厳しく、収益面は苦しい。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具 (造船)

(社) 中国小型船舶工業会

前月報告と大きな変化はなく、少しずつ受注がでてきている。

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

中手・大手の2,500総トン以上の平成26年9月分の建造許可は8隻245,200総トン(前月5隻、188,700総トン、前年同月7隻315,000総トン)であった。なお、8隻の内訳は、貨物船7隻237,200総トン、油槽船1隻8,000総トンで全て輸出船である。

業況については、全般的に人手不足であることに変わりはないが、最近の円安により、若干明るい兆しが見受けられる。

●輸送用機械器具（造船関連団地）

呉鉄工業団地協同組合

原材料の高騰により収益性が悪化している。

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

9月の国内自動車販売台数は全需が519千台、前年同月比0.8%減少と3ヶ月連続の前年割れとなった。登録車は前年比2.8%減少と2ヶ月連続の前年割れ、軽自動車は2.5%増加と3ヶ月振りの前年越えとなった。マ

ツダ車は6.9%減少と6ヶ月連続の前年割れとなった。

アメリカの8月の全需は1,586千台で前年同月比5.5%の増加。マツダ車も同11.4%増加と6ヶ月連続の前年超えとなった。

欧州の8月の全需は936千台で、前年同月比0.7%減少。しかしマツダ車は同12.1%増加と好調で16ヶ月連続の前年超えとなった。

中国の8月の全需は1,850千台で、前年同月比12.2%増加。マツダ車も24.9%増加と6ヶ月連続の前年超えとなった。

上記各地域の状況下、マツダ車の8月の海外販売合計台数は97千台、前年同月比7.9%増加と14ヶ月連続の前年越えとなった。

マツダは欧州向けの輸出はほぼ前年並みであったが、その他地域向けが前年比でややマイナスとなり、全体では前年比1.5%減少と2ヶ月振りの前年割れとなった。

マツダの8月の国内生産台数は、前年同月比1.9%増加となり、2ヶ月振りに前年超えとなった。

（その他）

●家具・装備品

広島家具工業協同組合

受注については各社バラつきがあるが、前年比90%から95%で推移している。売上は昨年実績を上回っているが、10月以降、年末にかけて厳しい状況が予想される。

（卸売業）

●卸売業（総合）

協同組合福山卸センター

卸売業から小売業の企業に地域内の空き物件が売却され、改修工事が行われている。出店

企業は、大手衣料品販売業の通販部門の予定である。

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

9月には、輸出企業は円安の恩恵を受け、業績面は順調に推移しているが、輸入関連の中小卸業者にとってはコストアップとなり、業績面を圧迫している。住宅着工件数、設備動向も減少が続いており、販売先小売店も伸び悩む中、中小卸業者にとって景気浮揚感はない。

「資材関連」においては、秋口の需要回復を見込んでいたが、前年並み以下の受注状況である。

「食品」においては、売上は前年並みで推移している。

「繊維」においては、販売先小売店が長雨により夏物在庫の過剰感があり、秋冬物の販売意欲は強いが、総体的に売上は伸び悩んでいる。ダイエーがイオンの完全子会社化となり、売上がなくなる業者もある。

大型小売店の系列化、PB商品のシェアアップにより中小繊維業者は苦戦。

「雑貨」においては、日用雑貨は前年並みに推移している。紙卸は紙を使わない電子媒体の普及から構造的に売上が落ち込んでいるが、4月の消費税の値上げ以降売上は対前年比15%減少となっている。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

今期初めの予測では、第2四半期中には仕事量が増加するとの予測をしていたが、前年並みの推移となっている。広島県住宅着工によると、7月着工は住宅、非住宅ともあまり良くなく、第3四半期に入っても横ばいの状況が続くと予測される。

また、太陽光発電においては、10KW以上の全量買取売電を凍結する動きもあり、産業用太陽光発電のブームも収束に向かうと思われる中、リフォーム、リニューアル市場での仕事が活発になると予測され、今後更にこの市場への積極的な取組強化が重要である。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

9月末で加盟店が1社廃業により脱退した。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

国内産地では、秋の需要を見込んで消費地での展示会やキャンペーンを大々的に展開している。既に生産はフル稼働状態で推移しているが、相場は横ばいで今一步盛り上がりが無い。中国産では、生産はフル稼働状態で、価格は高値横ばいとしている。これが円安による輸入高により、国内での販売が高値で推移する要因となっている。

畳業界ではようやく秋めいて来たため活況を呈するものと見ている。雨や湿度の高い状態が続くと畳表業界ではお手上げとなるため、湿度が下がってくるこれからの秋本番に向けて本格稼働していくこととしている。

(小売業)

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

9月は来店客数対前年同月比0.6%増加、売上も対前年同月比5.9%増加と久々に好調であった。明らかな要因は今のところ見当たらないため、現在検証中である。

●各種商品小売業

チューリップチェーン商業協同組合

9月の売上は、前年比、前年同月比共に増加した。8月の曇天の影響により、主力商品である野菜の市場入荷量が減少し、相場が急上昇したことによるものである。このことが、大きく売上に影響したと考えられる。また、今年は残暑が厳しくなく、朝夕の気温も低かったことで食欲が増したことが、我々食品業界においては良い結果をもたらした。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

9月度の販売実績は前年同月比12.4%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比18.9%減少、BDレコーダー同4.8%減少、音響・車載機器同26.2%減少、冷蔵庫同11.4%減少、洗濯機同12.8%減少、エアコン同16.3%減少、エコキュート同9.4%減少、IHクッキングヒーター同12.6%減少となった。全商品とも冷夏の影響により前月の売上減が取り戻せてない状況が続いている。

(商店街)

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

季節物需要により先月より売上は増加しているが、前年同月に比べると減少している。

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

呉本通商店街振興組合の青年部が中心となり「呉もりあげ隊」を組織し、中心市街地活性化に向け、取り組みを開始した。

空き店舗に9月初旬、朝日食品容器のモダンパック朝日がオープンし、空き店舗が1店解消された。

(サービス業)

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比36.3%増加、前年同月比5.2%増加。車検場収入は前月比32.4%増加、前年同月比4.3%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比50.1%増加、前年同月比3.5%増加となっている。前月比は大幅に増加しているが、前年同月比では微増であり、景況感は横ばいとした。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

前月に引き続き、隣接県の大型ショッピングセンター工事の影響もあり、一部ではやや多忙となっている。全体としては、平均的ではあるが、ここにきて材料の一部値上げが見られる。

●情報サービス

(社) 広島県情報産業協会

9月に入り、為替レートが109円/ドルと急激な円安となり、今後の推移が気になる場所である。

(建設業)

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

9月における工事受注件数は前月比93.2%増加、前年同月比33.7%増加となった。

●工事業

神辺建設業協同組合

各社、年度末工期の案件を抱え現場の稼働率は上昇傾向にあるが、人手不足や職人不足といった人員確保の問題も浮き彫りになっている。

人員確保の為、労働者賃金の上昇が望まれるが、中小企業を中心に雇用賃金の上昇は緩やかである。企業が積極的に賃金を上げやすくする税制改革等が望まれる。

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

9月の売上について前月比39%増加、前年同月比27%増加となっており、前月比の伸びが特に大きく、累計前年比では10%増加で推移している。

前月比で見るとカーテン工事は125%増加、敷物93%増加と大きな伸びがあった。壁装工事は7%減少とやや低調の推移である。

前年同月比でもカーテン工事は64%増加と大きく上回ったが、敷物は24%減少と大幅な落ち込みであった。壁装工事は前年同月比5%増加と微増である。

カーテン工事と敷物工事においては、各月毎で大幅な変動があるものの、壁装工事についてはほぼ平均的な推移である。内装工事全体ではやや低調な推移であった。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

急激な円安は業界にとってマイナス要因である。

近隣に大型商業施設の建設が進んでおり、今後人手不足が更に深刻になると予想される。

●道路貨物運送業

広島県ロジネット協同組合

9月の荷動きは、例年通り月末に近づくにつれて活発となり、全体的には前年の約10%増と堅調な推移を見せた。特に平ボディー関係の荷動きが多かったという報告もあり、景気回復の兆しを感じさせる動きである。また軽油価格は2ヶ月連続の値下げとなっている。アメリカで、軽油の在庫確保が基準を満たしたことで、燃料確保の動きが止まっていることも少なからず影響しているのかもしれない。国内メーカーにおいても在庫を抑えながら需要と供給のバランスを保っているようである。高値安定の傾向は依然として変わらず、大きな値下げとは言えないが、1.5円/L程度の値下げ幅とみられる。

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

9月は輸送用貨物も安定してきたようで、忙しくもなく、暇でもないといった状況で、車両不足でもなく落ち着いた状況であった。軽油単価も若干下がってはきたものの高値止まりであり、相変わらず経営的には厳しい。

全日本トラック協会は「人材の確保や労働条件の改善を図るためには、旧暫定税率を廃止し、少なくとも燃料価格高騰時における旧暫定税率の課税停止措置(トリガー条項)を発動すべきである」と訴え、燃料価格高騰に関する署名活動を全国のトラック協会を通じ8月21日から9月25日まで実施した。署名は100万人を目標に実施し、優に100万人を超える署名が集まっているようである。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

燃料の高騰により燃料費のコストアップが続いている。

船員の高齢化が進み、船員不足である。若年船員が育たない。

運賃、用船料の改善が見られない。

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比は地価調査基準値評価の報酬が振り込まれたため、売上高が増加、収益、資金繰りは好転している。

前年同月比については、公的評価依頼がやや増えたが、一般鑑定が減少したことで、収支的には変化はない。

不動産取引については、広島駅周辺、平和大通り沿い、旧市内のリバーサイド沿い等の利便性の良い地域のマンション販売は好調に推移している。